

健康経営宣言

西肥自動車株式会社は、従業員を大切な財産と考え、心身ともに健康で安心して働く事のできる職場環境づくりを目指しています。地域公共交通の担い手として、より一層安全で快適な輸送を実現していくためには、従業員の健康こそが、重要な経営資源であると考えております。そして、従業員の健康の維持向上に努める事で、よりよいサービスの提供や企業の発展に繋がっていくと確信しております。

今後も、従業員が末永く生き生きと働き続けられる環境づくりと、健康管理に積極的に取り組み、地域の皆様に選んでいただける企業となれるよう努力していく事をここに宣言いたします。

【重点取組項目】

私たちは、「安全・安心・快適な輸送サービス」を提供するため、従業員の心身の健康が重要であるという認識のもと、代表取締役社長を責任者とし、以下の重点項目を定めて取り組みを推進いたします。

- ① 健康診断結果及び、基礎疾患治療者に対してのフォローアップを基本とし、生活習慣の改善や受診・コントロール状況の把握・指導に努め、疾病の予防と重症化防止及び、従業員のヘルスリテラシーの向上を図ります。
 - ➡ * 保健師による結果説明及び保健指導、健康教育の実施
 - * 受診・治療状況の追跡、指導実施
 - * 保健だよりの定期発刊
 - * 特定保健指導や被扶養者の健康診断等における、協会けんぽ長崎支部との連携協力
- ② 心の健康問題の特性を考慮し、関係者に対する情報提供や教育に努めるほか、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを推進する事や、専門職による相談体制の充実によって、メンタルヘルス対策が適切かつ効果的に実施できるよう努めます。
 - ➡ * 従業員や管理職向けの健康教育、啓発の実施
 - * 保健師によるメンタルヘルス巡回相談の実施
 - * 過重労働防止対策の充実
 - * ストレスチェックの実施と結果を踏まえた職場改善への取り組み
 - * ハラスメント防止対策の推進、相談窓口の設置
- ③ 健康増進法に基づく受動喫煙対策を遵守し、禁煙に対するさらなる意識・行動の変革に取り組みます。
 - ➡ * 屋内禁煙の実施
 - * 従業員に対する啓発や禁煙指導の充実

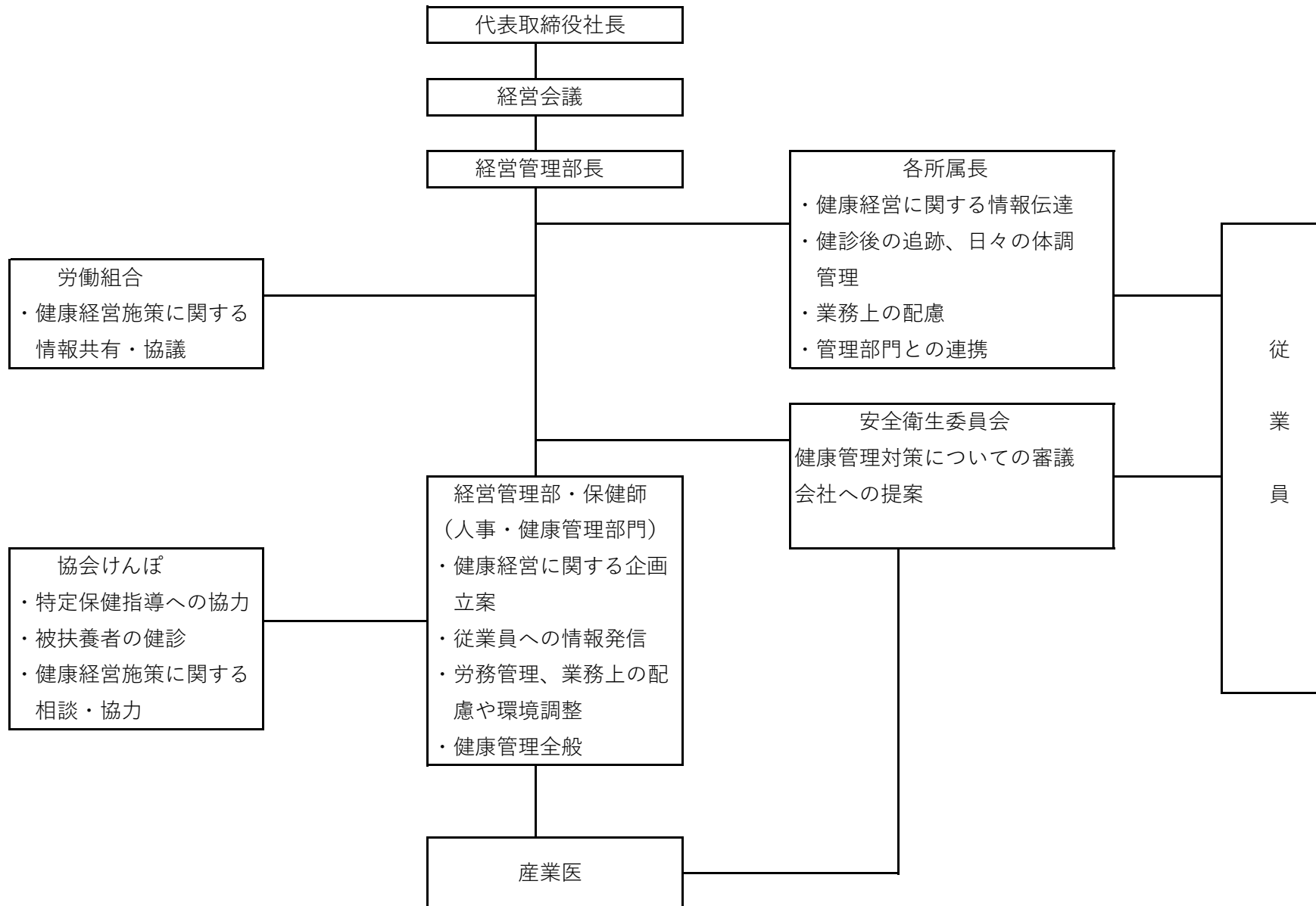
- ④ 脳血管疾患や睡眠時無呼吸症候群、感染症等安全なバス運行を阻害しかねない疾病の予防に向け、管理体制の充実に会社全体で取り組んでいきます。
- ➡ * 全運転士に対する脳 MRI 健診及び SAS（睡眠時無呼吸症候群）簡易検査を 3 年に 1 回実施。SAS 対策においては、精密検査や治療費の助成を行う。
 - * 視野障害対策として、全運転士に対し、眼底・眼圧検査を 2 年に 1 回実施
 - * 受診・治療状況の定期的な確認、指導を実施。
 - * 安全管理部門と連携し、健康起因防止に向けた継続的な教育の実施
- ⑤ スポーツイベントの企画等、健康増進活動の促進と従業員の交流の場づくりに努めます。
- ➡ * 社内ボウリング大会やウォーキング大会の実施
 - * 1 日 8000 歩、階段使用等運動に対する啓発促進
 - * 就業前のラジオ体操実施
 - * 企業対抗運動会やマラソン大会等のスポーツイベントへの積極的な参加
 - * 定期的な社員旅行等交流事業の実施
- ⑥ 仕事と治療の両立支援、長期療養者の復職支援に力を入れ、働きやすい環境づくりに努めます。
- ➡ * 主治医・産業医と連携し、体調を考慮した就労環境づくりに取り組む。
 - * 関係機関や社会資源との協力・活用
- ⑦ 女性が安心して働き続けられるような仕組みづくりの推進と、相談体制の充実を図ります。
- ⑧ 感染症対策等、健康危機管理対策の充実を行います。
- ➡ 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、風疹、ノロウイルス対策などの社内体制づくりの強化及び従業員の啓発教育の実施。
 - 消毒液の設置、インフルエンザワクチン接種の費用助成、状況に応じた、web 会議の導入など、社内での感染拡大防止に努めます。
- ⑨ 人材定着や採用力向上についての取組みを強化します。
- ➡ 人財開発支援室を設置し、地域の様々な資源を活用、連携しながら採用力向上や採用活動の強化を図ります。バス運転士や整備士の不足を解消し、魅力ある職場づくりを推進し、人材定着を図ります。

以上のような、健康管理体制の構築と、健康経営上の課題に対する取組みを強化するべく、一層努力してまいります。

2025 年 10 月 8 日
西肥自動車株式会社
代表取締役社長 酒井 利明

健康経営推進体制

西肥自動車株式会社



データから見る西肥の健康

(単位：％)

	2024年度	2023年度	前年比較
定期健康診断受診率	100	100	変化なし
定期健診有所見率	68	67	増加
定期健診後の精密検査受診率	55	66.5	減少
メタボリックシンドローム該当率	26	20	増加
ストレスチェック受検率	96.9	97.6	減少
ストレスチェック高ストレス群の割合	11.6	9.8	増加
特定保健指導実施率	24.5	71.4	減少
従業員平均年齢（単位：歳）	51.6	51.5	増加
運動習慣者率	21.9	19.7	増加
飲酒習慣がある人の割合	23.4	32.2	減少
良質の睡眠がとれている人の割合	60.2	61.3	減少
喫煙者率	35.9	35.6	増加

西肥健康通信(令和7年5月号)

今回は、厚生労働省が5月31日の「世界禁煙デー」から1週間を「禁煙週間」と定めていることもあり、たばこ健康について考えてみようと思います。

西肥自動車喫煙率 2023年度実績

	当社	長崎支部平均	同業態全国平均
喫煙習慣がある者の割合	35.6	30.3	38.5

前年度(2022年度)の34.0%に比べて、微増。他の業態よりも多い傾向

たばこの煙には、依存症の原因となる「ニコチン」のほか、「タール」、「一酸化炭素」、「ヒ素」、「カドミウム」等**約250種類の有害物質が含まれており**、健康を害する可能性が高い嗜好品であることは、皆さんもご存じだと思います。

WANTED

ニコチン



●特徴●

末梢血管を収縮させ、心拍数を増やし、血圧を上昇させる。強い依存性がある。

WANTED

タール



●特徴●

多くの発がん物質を含む。

WANTED

一酸化炭素



●特徴●

血液が運ぶ酸素の量を減少させる。動脈硬化が進みやすくなる。

愛煙家の方々には、疾病予防の観点から禁煙をお勧めしていますが、吸う事が生活の一部となっており、禁煙するのにかなり勇気や努力がいるのも事実・・・ならば？

喫煙マナーを守って、吸う人も吸わない人も快適に共存する事を職場で考えてみてはどうだろうか👀

受動喫煙が怖い

受動喫煙：たばこの煙を、自分の意思とは関係なく吸い込んでしまうこと。



無風でも、タバコを吸う人からは、直径14メートル内には煙が届くと言われている。

自分はタバコを吸っていないなくても、吸う人と一緒にいるのはとても危険だったりする。当社には、未成年の社員もいるので、配慮は必要。

<望まない受動喫煙を防止するため、以下の事に気を付けましょう>

- ◎許可された場所でのみ、喫煙する(屋内禁煙は守ってください)
- ◎周囲への配慮をすること(喫煙後の臭い対策)
- ◎タバコのポイ捨て・歩きたばこはしない。
- ◎勤務中は、最小限の時間で済ませる。

禁煙を考えている方の相談も受け付けています！